

寄せられたご意見と本市の考え

○該当の ページ数	総合戦略【10,11】ページ
○項目名	【(3) 市民の結婚・出産・子育ての希望を叶える】
ご意見等	<p>私は県外から合志市に移住し、定住することに決めています。比較的住みやすい環境・子育てしやすい環境ではありますが、上記項目に関して意見を上げたいと思います。P10[女性の人生「就職～結婚～出産～子育て～キャリアUP～職場復帰・再就職～アクティブシニア」を総合的に支援しようとする動きとP11[市内在住者で市外に店舗や事業所を構える人に対して、市内への移転促進を図ります]との記載部分に関し、意見があります。女性の人生の中で子育て時間というものは長い期間があります。子育てをしながらキャリアUPと起業・再就職等の動きは平行時に行われるもので、なぜ市外での起業が行われたり（なぜ合志市ではないのか）、キャリアUP・再就職が必要なのかを考えると、根本的には子供を自由に預ける環境・選択肢が不足しているのではないかと考えます。（未認可かもしれないが）自由な時間単位で子供を預かる保育園でなどの選択肢は熊本市内のほうが選択肢があり、再就職についても職場復帰する女性が優先的に保育園に預けられる現状があるために機会を逃すのではないかと思います。それらの解決が保育園の増加だけとは思いません。</p> <p>アクティブシニア増加を掲げる合志であれば、シニア世代が子育て世代を助ける動き（昔の家族は3世代で住み、祖父母が孫をみるなどの動きがあった）を地域活性化として掲げることは可能ではないだろうかと考えました。毎朝、幾久富周辺ではシニア世代が子供の通学を見守る動きが見られますが、この活動をさらに大きくする可能性を広げて、例えばですが学校が終わったら公民館で勉強を見るなど合志独自の判断があってもいいのではないかと思います。子供の問題を切り離して、女性の輝く地域づくりの推進はむずかしいのではないかと思います。</p> <p>KPIに関し、出産時に退職した目安がないので不確かなのですが（育休が80%だから20%?）、出産時に退職しない管理値があってもいいかもしれません。以上です。</p>
市の 考え方	<p>ご意見の前段、P10「女性の人生「就職～結婚～出産～子育て～キャリアUP～職場復帰・再就職～アクティブシニア」とP11「市内在住者で市外に店舗や事業所を構える人に対して、市内への移転促進を図ります」との整合性について、ご意見のとおり、市内在住者の事業者の方で、より選択肢の広い市外への子育て環境を求めて、市内出店への機会を逃していることもあるかと存じます。</p> <p>このたびの「総合戦略」は、国家的な人口減少に歯止めをかけ、中央(東京)一極集中を是正するため、地方へのひとの流れをつくることが求められており、隣接するしかも県内の市町村間での立地競争と受け取られる表現は削ることとしました。また、合志市における子育て環境に対する問題におきましても、ご意見を踏まえて、自由な時間単位での預かりの実現性など、「官民広域連携による女性輝く地域づくりの推進」の中で、女性の視点で政策提言をいただき、保育園を増やすのみでなく、子育て世代の様々な状況に配慮できる取組を検討していきたいと考えております。</p> <p>また、アクティブシニアの活躍に関しましても、「官民広域連携による女性輝く地域づくりの推進」において、女性目線の政策提言及び女性輝く地域づくりを集中的に行うこととしており、実際に民間企業の経営者や働く女性が関わり、施策を進めていく予定です。シニア世代の活動など地域に即した独自の支援体制についても、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>なお、出産時に退職しない管理指標につきましても、今後「総合戦略」を実行し検証していく中で成果を測る数値として適切な管理値を検討してまいります。現在のところ出産時に退職というデータは合志市にもありません。今回のKPIについては、毎年事業を実施して検証作業を行ない、「官民広域連携による女性輝く地域づくりの推進」という施策について戦略期間5年後の効果を推し測るため、「女性の育児休業取得率」という指標を設定したところです。</p>